



東京部会(第43回)

日時:	2011年11月22日(火) 19:00-21:30
場所:	日本大学経済学部7号館13階会議室3
参加者:	篠原(同志社大)、加藤(日大)、新井(小石川中等教育)、大倉(松戸向陽高)、杉田(千葉西高)、高橋(桜修館中等教育)、長谷川(桜修館中等教育)、宮崎(蒲田高)、升野(筑波大付属中)、山崎(北海道豊富高:筑波大院)、神尾(第一学習社)、中沖(清水書院)、鈴木(日本経済教育センター)、石山(東証)、榊原(東証)、二本柳(獨協大)、宮尾(筑波大)[順不同]

【内容要旨】

1. 新井先生より、配布レポートに基づいて、以下の報告があった。(1)夏の教室の「後始末」；質問および講演記録のアップ(一部済)と来年の準備について。(2)今年の入試問題プロジェクト；関係の先生に企画書とフォーマット送付、対象大学をしぼってじっくり検討。経済学の先生方との協力がポイント。(3)12月総会の内容提案；テーマは「経済と法」で講演は中川先生、実践報告とシンポジウムは樋口先生、太田先生、岩本先生、新井先生で、内容の柱を検討中。これについて、篠原先生や大倉先生から、細かい具体的事例よりも、経済と法の両方から見て望ましい制度のあり方などを検討したらどうかとの示唆があった。(4)来年夏の経済教室の準備；日程案が示され、いくつかの問題点が議論された。内容は検討中。(5)『経済セミナー』の連載について；6か月経過したものは順次アップ。(6)1月31日に名古屋の高校の研修会に篠原先生と新井先生が出席予定。
2. 篠原先生よりワークショップなどの予定について、12月8日に福井大学で、また2月4日には札幌で行うという報告があった。
3. 新井先生の報告に関連して、長谷川先生より、配布資料「11年度入試プロジェクト検討問題」で國學院大學と中京大学の入試問題が示され、いくつかの問題点が指摘され、それらの点およびその他の点について討論が行われた。
4. 杉田先生より、配布資料「ビデオ教材を利用した授業レポート：授業テーマ：真夏の夜の経済学—国債—」の説明があり、番組のビデオを視聴した生徒たちの主な感想が紹介され、このような授業の有効性が指摘された。このテーマについて、篠原先生や大倉先生、その他の参加者から特に日本の国債問題に関して強調すべき論点が出され、また宮尾よりまず基本的な経済分析で生徒たちに理解できる点を取り上げたらどうかとの示唆があった。
5. 宮尾より、配布資料「生徒に『余剰分析』を進んで学ばせる方法」について詳しい解説があり、「余剰」という分かりにくい概念を生徒に学ばせるには、概念を分かりやすく教えようとするよりも、むしろその概念を使えば非常に興味深い結果が得られることを示して、生徒たちに難しい概念でも学ぼうとする意欲を引き起こすことが重要であるとの主張がなされた。その「興味深い」適用例として、タクシー料金の問題と家賃統制の問題が挙げられ、それについて参加者の間で討論が行われた。結論として、これらの二つの具体例にこだわらず、現場の先生がたが「余剰」について生徒に興味を持たせるような具体例を探し、それらをうまく教えて、生徒たちを動機付けることが必要ということで、今後とも検討を続けることになった。
6. 最後に、山崎先生より、配布資料「倫理的基礎付けを踏まえた経済概念学習に関する研究」についての説明があり、特に別紙「『効率』と『公正』を踏まえたTPPの評価：学習指導案」に従い、クラスでの生徒たちの学習の度合や意見の変化などが報告された。

(文責：宮尾尊弘)



次回開催予定:

12月20日(火)19:00~21:00。場所は未定。議題は、今後の活動、特に夏の経済教室の準備、および実践授業や市場分析の教え方の議論の続き、その他。